

心相第 2102 号  
令和 5 年 11 月 7 日

札幌弁護士会長 様

北海道立心身障害者総合相談所長

照会事項への回答について

令和 5 年 10 月 24 日札弁第 7889 号で依頼のありましたこのことについて、次のとおり回答します。

記

対象者	氏名	[REDACTED]
-----	----	------------

- 1 依頼者らの療育手帳の可否判定に、照会先が関わるようになった時期及び経緯  
平成 28 年 10 月 19 日、恵庭市から判定依頼書を郵送で受理
- 2 依頼者らの療育手帳の可否判定がなされた時期及びそれまでの経過  
平成 28 年 10 月 19 日 恵庭市から判定依頼書を郵送で受理  
日時不明 来所日程の調整のため電話連絡  
平成 29 年 4 月 27 日 依頼者来所、検査の実施  
平成 29 年 6 月 20 日 判定内容の決定、恵庭市へ判定書を送付
- 3 依頼者らの療育手帳の可否判定がなされるまでの照会先と恵庭市とのやり取りの経過  
平成 28 年 10 月 19 日 恵庭市から判定依頼書を郵送で受理  
日時不明 来所日程の調整のため電話連絡  
平成 29 年 6 月 20 日 恵庭市へ判定書を送付
- 4 依頼者らの療育手帳の可否判定の際に提供された資料  
別添 判定依頼書及び判定依頼調査書（知的障害用）

# 判 定 依 頼 書

第 34-17号

北海道立心身障害者総合相談所平成28年10月13日

28.10.13 収受

第603943号

北海道立心身障害者総合相談所長 様

恵庭市保健福祉部長 船田 清



次の者について判定を依頼します。

記

1602655

ふりがな			男	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成
氏名			女	
住所	恵庭市恵南58番地3			
判定依頼事項	1 補装具費支給の要否 2 自立支援医療(更生医療)の要否 3 療育手帳交付(新規・再判定) 4 その他( )			
身体障害者手帳	障害程度	種	級	(交付年月日 昭和・平成 年 月 日) 障害名
	<input type="checkbox"/> 申請中(申請日 平成 年 月 日) ※手帳申請中の場合は、申請時の診断書・意見書の写しを添付のこと。			
疾患名	※障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令に規定する疾患名を記載のこと。 ※補装具費支給申請時に提出された診断書の写し又は特定疾患医療受給者証の写しを添付のこと。			
療育手帳	手帳 <input checked="" type="checkbox"/> ・有 A・B (交付年月日 昭和・平成 年 月 ) (前回の判定機関 [ 当所 ・ 児相 ・ その他 ])  ※手帳 無で過去に更生相談所・児童相談所で判定を受けている場合は次に記入してください。 ・もなみ学園への入所歴があるため、どこかしらで相談はしていたと思われますが詳細は不明。			
判定の方法	来所 ・ 巡回 ・ 文書 ・ その他( )			
判定希望日時				
備考	同時に申請した二名 [ ] と共に生活をしています。 雇用主の付き添いの関係上、3名の判定日をなるべく同日に調整して頂けますよう、よろしくお願ひいたします。			

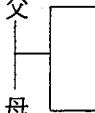
北海道立心身障害者  
総合相談所石狩支所

28.10.18 収受

29.4.27(木)

## 判定依頼調査書(知的障害者用)

北海道立心身障害者総合相談所

本 人	氏名	[REDACTED]	男	(旧姓)	大昭平	[REDACTED]															
人 住 所	〒(061-1411) 恵庭市恵南58番地3					[REDACTED]															
保 護 者	氏名	続柄			歳																
住 所	〒( )				[REDACTED]	( )															
主訴	1 療育手帳 (新規・再判定) 2 職親 3 職業 4 医療保健 5 生活 6 教育 7 その他 ( ) 8 強度行動障害																				
判定に至る経過・今後の希望  幼少期よりもなみ学園に入所。学園内の中学校を卒業後、学園で紹介された千歳市よしみつ牧場で勤務を開始。約30年間、牛のえさやりや牛舎の掃除に従事するが、牧場閉鎖となつたため、同市とだ牧場へ移る。そこで約1年間勤務した後に雇用主より解雇される。その後、現在の[REDACTED]牧場での仕事を得て、約10年前から現在まで勤務に至る。 しかし、[REDACTED]牧場が経営悪化により牛を手放し、仕事がなく、他に引き受けてくれる牧場もない状態。今後の雇用継続が難しいため、障害サービスの利用による生活を検討しており、療育手帳の申請に至る。																					
諸 制 度 の 利 用 状 況	*療育手帳 なし・あり A・B 昭・平 年 月 日交付 ( 第 号) 前回判定日 昭・平 年 月 日 (当所・児相) 次の判定年月 昭・平 年 月 日  *身障手帳 なし・あり 種 級 昭・平 年 月 日交付 障害名 有期認定 なし・あり ( 年 月 日 )  *精神障害者手帳 なし・あり 種 級 昭・平 年 月 日交付 障害名  *障害基礎年金・特別児童扶養手当 受給中 2級・支給停止中 級・申請中・未申請・非該当 *重度心身障害者医療費助成制度 なし・あり *扶養共済制度 未加入・加入申・受給中 *職場適応訓練制度 利用歴なし・利用中・利用歴あり																				
相 談 歴	なし・あり 1 心身障害者総合相談所(旧更生相談所を含む) 2 ( ) 児童相談所 3 婦人相談所 4 障害者職業センター 5 その他の相談機関 ( ) 相談時期及びその内容: もなみ学園への入所暦があるため、相談暦があると思われるが詳細不明。																				
家 庭 の 状 況	家族 <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏 名</th> <th>年 齢</th> <th>続 柄</th> <th>職 業</th> <th>同居別居</th> <th>学 歴</th> <th>健 康 状 態 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[REDACTED]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※5歳でもなみ学園に入所。家族については一切不明。  (兄弟すべて書いて下さい。)						氏 名	年 齢	続 柄	職 業	同居別居	学 歴	健 康 状 態 等	[REDACTED]							住居状況  自家 借家 借問 その他 プレハブ小屋の2階。風呂・トイレなし。 四畳半程度の広さ。
氏 名	年 齢	続 柄	職 業	同居別居	学 歴	健 康 状 態 等															
[REDACTED]																					
							経済状況  豊か 普通 苦しい 生活保護 その他														

生 育 の 状 況	*出生前後の状況	異常なし・異常あり( )		
	*乳幼児期の状況	始語 歳 ケ月ころ	・始歩 歳 ケ月ころ	
	*発達の遅れに気がついた時期とその理由	※全て不明		
	*障害の原因と思われる疾病等の診断			
	なし・あり( )			
学 歴	*もなみ学園内の小・中学校を卒業。			
	*登校、成績、友人等の状況 学園の友人の中では、リーダー的存在だった。			
職 歴	なし・あり			
	職場名	就労期間	退職理由	
	よしみつ牧場(千歳)	昭和49年～約30年	世話をする牛が経営悪化でいなくなつたため	
	とだ牧場(千歳)	平成16年～約1年	雇用主からの解雇	
	■牧場(恵庭)	平成17年～現在	作業種 牛の世話	賃金 円/月
施 設 利 用	就労の状況			
	現在、職場には3人の障がい者と思われる職員がいるが、その中で作業は一番できる。指示理解可能。			
	耕運機などの小型の農機具についても操作可能。操縦技術が必要なトラクターなど大型の農機具は使えない。刈払い機は使わせていないが、刃の交換などは好きでやっている。			
	なし・あり	利用期間		
	施設の種類	施設名		
児童養護施設	もなみ学園	入所・通所 昭和39年～昭和49年～ <del>SS1</del> <del>2017年</del>		
※もなみ学園に問い合わせるも、資料は現存していない。				
結 婚	なし・あり	年 月～(年 月)	結婚中～同居家族	人
	なし・あり			
	診断名			
	治療経過			
	現状～受診なし・通院・入院(病院名)			
精 神 科 受 診 歴	発達障害と指摘(なし・あり)ありの場合診断機関名( )			
	※障害年金を受給しており、受診歴があるものと見込まれるが詳細は不明。			
	既往症	なし・あり( )		
	治療中の疾病	なし・あり 診断名		
	受診先			
身長160cm 体重 kg	てんかん発作	なし・あり(服薬なし・あり)	病院 科	
現状・問題点(日常生活の様子・困ることなど)		担当者の処遇意見		
洗濯や掃除は自分で行っていると話すが、居室内は乱雑で十分ではない印象。簡単な調理(肉を焼く等)は可能だが、炊飯は水の量を調整できないため不可。		もなみ学園を退所後は、酪農に従事し生計を維持してきた。しかし、雇用側の経営悪化により雇用の継続が困難となることが度々あった。		
職場の中ではリーダー格で、先頭をきって悪事を働く場面(地蔵の賽銭泥棒等)が多々あり注意が必要であった。		雇用主は今後の障害サービス利用を希望しているため、本人の障害状況を把握し適切な支援につなげる必要がある。		
調査年月日 28年10月	調査場所 雇用主宅	調査者の職・氏名 主任	調査の相手 本人 : ■ 雇用主 : ■	